

彙報

一 京都哲学会公開講演会記事

恒例の京都哲学会公開講演会は平成十七年十一月三日(木)午後一時半から、京都大学大学院文学研究科新館第三講義室において左記の如く行われた。

一、インドにおける哲学史の二つの系譜

京都大学大学院文学研究科教授 赤松 明彦

一、デカルトとライブニッツにおける数理と自然の概念

京都大学大学院文学研究科教授 小林 道夫

講演会は数多くの会員の方々の出席を得て盛会であった。また講演会終了後、京大会館において懇親会をもち、多数の会員が講演者ととも討論と歓談のひとときを過ごした。

二 外国人学者来訪講演会記事

平成十七年七月より同年十二月末までに、京都大学大学院文学研究科の旧哲学系諸研究室の主催ないし共催のもとに行われた外国人学者による講演会は、次の通りである。(なおCOE関連で開催された講演会には含まない。)

カール・カッセゴール博士 (Göteborg University 東洋アフリカ言語文化研究所)

「スウェーデンから見た日本社会」

平成十七年七月八日 於京都大学文学研究科新館第六講義室

「社会運動における EXIT と VOICE」

平成十七年七月二十二日 於同館社会学共同研究室

Prof. Dr. Lambert Schmitzhausen (コンネルト大学)

「Reconsidering the status of plants in early Buddhism」

平成十七年十月八日 於同館第一講義室

前号目次

特集「始源の思索」

On the Origin of the *Lesyts*

..... Muneo TOKUNAGA

根源の現れとしての文の意味と直観

..... 赤松 明彦

アティンシャの論理学に対する立場

..... 宮崎 文泉

中国藝術理論史序説..... 宇佐美 文理

メノンのパラドクス、想起、仮設法、

根拠の推理とラリサへの道

—古代ギリシア哲学における本格的認識論

の始まり—..... 金山 弥平

ロゴスとミュートス..... 國方 栄二

* * * コミュニケーションと倫理学(下)

..... 水谷 雅彦